

図書館 ニュース

開館時間と休館日
 <開館時間> 火～金 9:30～18:00
 土・日 9:30～17:00
 <定休日> 月曜日・祝祭日・年末年始

◆ 図書館カレンダー ◆

8/26	水	
27	木	10:30～絵本とわらべうたの会
28	金	移動図書館車②コース
29	土	
30	日	10:30～おはなしひろば
31	月	月曜休館
9/1	火	
2	水	移動図書館車③コース
3	木	10:30～絵本とわらべうたの会
4	金	移動図書館車④コース
5	土	
6	日	10:30～おはなしひろば
7	月	月曜休館
8	火	
9	水	移動図書館車①コース
10	木	10:30～絵本とわらべうたの会
11	金	移動図書館車②コース
12	土	
13	日	10:00～ブックスタート
14	月	月曜休館
15	火	
16	水	移動図書館車③コース
17	木	10:30～絵本とわらべうたの会
18	金	移動図書館車④コース
19	土	
20	日	10:30～おはなしひろば
21	月	月曜休館
22	火	休日休館(国民の休日)
23	水	祝日休館(春分の日)
24	木	振替休館(敬老の日)
25	金	移動図書館車②コース

○の日は休館です。

夏の図書館は大にぎわい

図書館では夏の間、いろいろな催しで皆さんをお迎えしています。催しの一部をお伝えします。

ようこそ、夜の図書館へ

7月31日(金)午後7時から多目的室で「夏休み体験教室 ようこそ、夜の図書館へ」が行なわれました。この日は、夏休みということもあって小学生を中心に子どもと保護者約90人が参加し、読み聞かせ、ブックトーク、パネルシアターを楽しみました。ブックトークはあるテーマに関連のある本を続けて紹介していくものです。今



回は「夜、動くもの」をテーマに、動物、天体、昔話などいろいろな本の紹介がありました。

パネルシアターは、特殊な布を張った板を舞台に、絵を貼ったり外したりしながら展開していくおはなしです。

舞台上に貼られた絵が何に見えるか、子どもたちから思い思いの答えが出され、答えが当たると大きな歓声が上がっていました。

体験教室終了後は、ブックトークで紹介された本を含めて何冊も本を借りていく人も多く、親子で普段と違った雰囲気「夜の図書館」を楽しんでいました。

たなばたおはなし会

7月19日(日)午前10時から図書館3階の多目的室で、「たなばたおはなし会」が行なわれました。この日の参加者は親子約40人。読み聞かせ、紙芝居、おはなし、パネルシアターを楽しみました。



図書館イベント ボランティア募集中

10月3日、4日に開催する総合学習センターフェスティバルで図書館イベントを行います。楽しいイベントをたくさん企画して、皆さんに楽しんでいただくことを検討中です。これに向けて、運営に関わっていただく実行委員(ボランティア)を募集します。イベントの企画・準備から、図書館まつりを一緒に盛り上げませんか。「図書館でこんなことやりたい!」というアイデアや、当日・前日だけお手伝いいただけるボランティアも募集中です。くわしくは市立飯山図書館へ(☎0271-118)

新着図書案内

生活・社会・趣味

松下幸之助は生きている
 良寛に出逢う旅
 中央アルプス(ヤマケイアルペンガイド1)
 南アルプス(ヤマケイアルペンガイド10)
 図解裁判のしくみ
 人と経済の世界地図
 最新図解でわかる介護保険のしくみ
 科学(ときめく)かもがわCブックス13
 いきものもどき
 甲状腺の病気を治す本
 今あるガンが消えていく食事
 世界が水を奪い合う日・日本が水を奪われる
 インテリアコーディネーターになる!?
 くわしくわかる新幹線のしくみ

岩谷 英昭
 羽賀 康夫
 津野 祐次
 中西 俊明
 永井 一弘
 世界銀行東京事務所
 服部 万里子
 益川 敏英
 山村 紳一郎
 栗原 英夫
 高穂 淳司
 橋本 高穂
 三島 俊介
 川島 令三

よきもの

静子の日常
 寂しい写楽
 おさがしの本は
 舶来屋
 院長の恋
 ザ・ベストミステリーズ2009 日本推理作家協会
 文化祭オクロック
 ドーン
 レッドゾーン 上下
 星間商事株式会社社史編纂室三浦
 刺客長屋

井上 荒野
 宇江佐 真理
 門井 慶喜
 幸田 真音
 佐藤 愛子
 竹内 啓一郎
 平野 真
 真山 仁
 森村 誠一

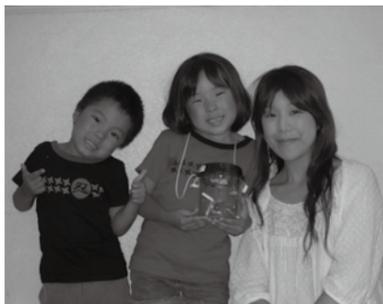
大活字本シリーズ

千曲川のスケッチ
 馬喰八十八伝 上中下
 高瀬川女船歌 上下

島崎 藤村
 井上 ひさし
 沢田 ふじ子

わたしのおすすめの本 紹介します

★今月のお薦め★
 飯山地区
 田代 貴恵 さん



草之丞の話
 江國 香織 文
 飯野 和好 絵
 (旬報社刊)

読みたい本はたくさんあるのに、繰り返し読んでしまう本があります。日常の中でふと目にしたものの、耳に入った音で、ああまた読みたいな、と。初夏、一年ぶりにびわの柔らかい実を手にし、クンクンと淡い臭いを嗅いだらまた読んでしまいました。というのがこの本です。「草之丞の話」ファンタジーはあまり好

きではないのですが、基本的にこれは絵本ですからありえないことも出てきます。しかしどこか「なきにしもあらず」的なニュアンスが読後に残るのは13歳の「僕」を主体としたまっすぐな文章のせいかもしれません。シンプルな、しかし選り抜かれた言葉たちは、声に出してみるとじんわりと心にしみこんできます。

一冊読むのに十分足らず。その中で、一つ一つの場面が妙にリアルに印象に残ってしまうのは、おそらく挿し絵の力でしょう。果実の色、人物の表情、そして眼差し。文章と絵のバランスを味わえる本だと思います。

花が咲き、枯れ、また咲く。命が生まれ、消え、また生まれる。奇跡があったりまえに通る過ぎるこの世界。絵本にはフシギやキセキがあふれていて、現実に戻った時に気づかされることと多くあります。大切な人々に出会えたことの奇跡に気づいてしまうかもしれない、そんな「大人のための絵本」と言えるこの本、びわの木の下でぜひ読んでみてください。

ゆきつばき号が新しくなります

市民の皆さんにご利用いただいております移動図書館車ゆきつばき号が、国の緊急経済対策に基づく補正予算により更新される見込

みとなりました。現在のゆきつばき号は平成7年11月から運行中で、すでに14年も走り続けていて老朽化が進んでいます。

新しい移動図書館車は、雪道の運行や貸出状況を勘案して現在より少し小型になる見込みですが、サービスが低下しないように工夫して参りますので、ご理解をお願いいたします。